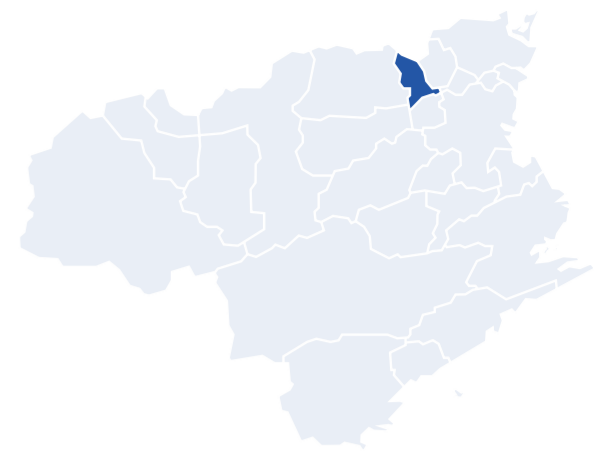


2つの「日本遺産」と出会えるまち、上板町



FEEL! KAMIITA TOWN TOUR 上板町で徳島を感じる旅



世界に誇る物語、 日本中を染め上げた 至高の青と 独自の巡礼文化

1つ目の物語は、古くから日本人の生活に深くかわり、神秘的なブルーといわれた「藍」。上板町は、「藍染」の原料である「すくも」の製造を行っている数少ない町であり、全国のすくもの半数近くを生産しています。この地域では、今も藍染料が伝統的な技法で生み出されており、その色彩は人々を魅了し続けています。2つ目の物語は、弘法大師空海ゆかりの札所を巡る「四国遍路」。阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400kmにも及ぶ日本を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われています。上板町には、お遍路で一番最初の宿坊である第六番札所「安楽寺」があり、古くからお遍路さんに親しまれています。

PICKUP CONTENTS コンテンツの魅力

JAPAN HERITAGE



「藍」にまつわる“すべて”を体感する、技の館

上板町に古くから伝わる伝統工芸を“地元の人々とともに後世に大切に残していきたい”との思いから設置された「技の館」では、伝統的な技法を用いて、藍の苗の栽培からすくもの製作まで、すべての工程を行っています。ここでは、藍染の体験だけでなく、「藍にまつわるすべて」を体験することができます。ぜひ技の館を訪れ、「日本中を染め上げた至高の青の物語」のすべてを体感してみてください。

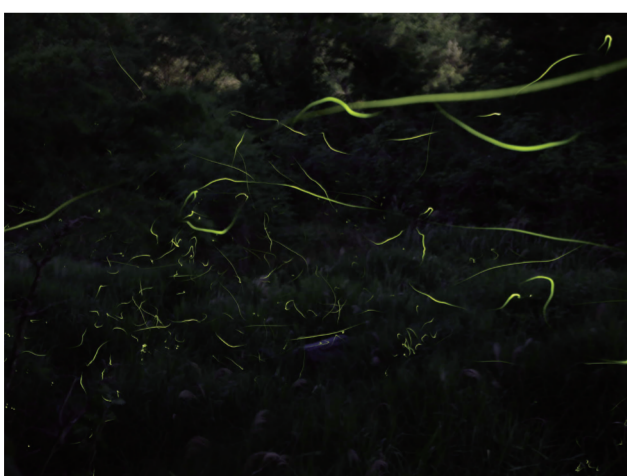
JAPAN HERITAGE



旅の疲れを癒やす、温泉山「安楽寺」

万病に効果のある霊泉が湧き出ていることから弘法大師様が名付けた「温泉山 安楽寺」は、御本尊「薬師如来様」、「金剛宝拝殿の弘法大師様御一代記」、「厄除けのさか松」など、見どころの多いお寺です。また、四国八十八ヶ所の中で一番初めに出てくる宿坊であり、400年前からお遍路さんに親しまれています。薬師如来様のご加護に溢れる霊泉で歴史に思いを馳せながら、旅の疲れを癒してください。

NATURE



源氏ホタルの乱舞、泉谷川ホタルの里

「技の館の東側」を流れる「泉谷川」。ここでは、毎年6月上旬～中旬にかけて、源氏ホタルの見事な乱舞が見られます。地元の人々が協力して付近一帯の草刈りを行うことで、ホタルの餌となるカワニナ（小さな巻き貝）が増殖して、ホタルの生育環境が整えられています。期間中、技の館を訪れた際には、ぜひ「泉谷川ホタルの里」にもお立ち寄りください。

HISTORY



時代の風格、第十樋門

第十堰の上堰入口近くに砂がたまり、旧吉野川・今切川へ水が流入しにくくなったことで、1923(大正12)年に造られました。日本で最初期のコンクリート造りの樋門で、当時としては、国内最先端の技術を用いて作られました。完成当初は、日本一の樋門として吉野川の名所となり、多くの見物客が訪れ、現代でもその立派なゲートとともに、横にある水尺小屋も時代の風格を感じさせます。100年にわたり、吉野川を支え、見守り続けてきたその姿を是非一度ご覧ください。

SPIRITUAL



豪傑が集う寺、大山寺

四国別格二十霊場第一番札所「大山寺」では、戦国時代に、当町の七条城主が怪力を授かったことにちなみ毎年1月第3日曜日に、大きな鏡餅を運ぶ「力餅」が開催されます。男性、女性、子どもとそれぞれの重さの餅をかついで歩いた距離を競い、見物客も思わずが入る名物行事です。県内外問わず多くの人々が訪れるため、是非一度ご覧ください。また、力餅だけでなく11月上旬になるとモミジやイチョウの紅葉が見られ、特に本堂前のイチョウの木は樹齢600年以上であり、多くの観光客で賑わっています。

NATURE



乳保神社のイチョウ

樹齢が推定800年とされる徳島県下のイチョウの中で最長老級の巨樹で、2度の落雷や火災などの様々な被害を受けてきましたが、地元住民らの手入れによって今は回復し、地域のシンボルとしてしっかりと根をおろしています。幹周約17m、樹高約28mで、県下でも数少ない国の天然記念物に指定されており、例年12月上旬頃に鮮やかな黄葉が見られます。無料駐車場もありますので、是非一度お越しください。

